

出資金純増1億円達成しよう!

あかるいまち21

No.890号 2015年12月15日 組織部 TEL082-532-1264

	12月	4月～11月
組合員ふやし	46人	1040人
出資金ふやし	313万円	1億567万円
純増	105万円	5,349万円

包括支援センターと地域住民の懇談会を開催

己斐支部では、つながりマップを作成する過程で、地域の包括支援センターの方との懇談を深めようということとなりました。12月12日に己斐・己斐上地域包括支援センターより、センター長さんと社会福祉士の方2名にお越しいただき、「地域包括支援センターってなに?」という学習会を開催しました。会場近隣にチラシを配布したことで、新しい3名を含め17名の参加があり、会場は満員になりました。

学習会では、センターの役割・職員体制・業務について、大変わかりやすい紹介がありました。業務内容は①介護や健康 ②高齢者の権利を守る ③ネットワークづくり ④その他の相談ごとの4点ということで、それぞれの詳しい説明がありました。



会場には、作成途中のつながりマップも掲示し、生協が地域の健康づくり・つながりづくりを進めている様子を包括支援センターの方にも見ていただきました。センターの方からは、「一人暮らしの方がどこにおられるのかセンターでは把握しているとはいいがたい。つかんでいるのは住民のみなさん自身です」と評価していただき、1年に3回くらいは、このような会を開いてほしいと参加者から要望も出されていました。

医療福祉生協の地域包括ケアをすすめよう!

12月14日、2015年度理事研修会を開催しました。研修会には、岡山医療生協の木村理事長と西区社会福祉協議会の安井主任をお招きして、『地域包括ケア』について学びました。

木村理事長のお話では、社会情勢と国の政策として進められようとしている地域包括ケア、そして私たち医療福祉生協が取り組もうとしている『医療福祉生協の地域包括ケア』について学んでいきました。昨年成立した医療介護総合確保法により、在宅・地域で医療や介護する時代が本格化していきます。その受け皿となるのが地域包括ケアです。その中で注目されているのが協同組合の活動です。

安井主任さんからは、活動や地域で取り組まれているのサロン活動についてお話し頂きました。その後のグループディスカッションにも参加くださり、学びを深めていきました。

私たち生協は保健・医療・介護の事業、そして地域の組合員による健康づくりや見守り、助け合いなど様々な活動が行われています。私たちには、地域包括ケアを意識した活動へと発展させていくことが地域から求められます。医療福祉生協の地域包括ケアとは、まちづくりをすすめていくことです。この研修会を本格的なスタートとして、地域包括ケアを意識して地域の医療や介護機関や社協や自治体、町内会、地域の活動や人などと繋がりをつくっていきましょう。



協同組合がよりよい社会を築きます



広島中央保健生活協同組合

